

子どもの自然体験推進事業子育て王国課

【山陰両県を子ども達の豊かな自然体験の場にする会、鳥取県子育て王国課、島根県子ども・子育て支援課】

取組の背景

近年の急速な社会状況の変化により、子ども達は低年齢からメディアやIT機器に触れる機会が増え、それに伴い乳幼児期の外遊びや自然体験の機会が失われつつある。一方で子どもや親たちの自然体験不足が子どもの健全な発育や子育てに与える影響は大きい。

事業概要

本事業では、山陰両県の乳幼児と親を対象とした自然体験活動の推進を目指す。そのために、同じような問題意識を持っている事業者同士がネットワークを構築し、山陰両県での子どもの豊かな子育てに寄与していけるようアイデアを出しつつ具体的な活動に繋げていく。

実施団体と行政それぞれの役割分担

- 山陰両県を子ども達の豊かな自然体験の場にする会：山陰両県の関係者とのネットワーク構築、実行委員会の運営、フリーペーパー等の作成、子育て関連団体との連携
- 鳥取県、島根県：実行委員会の会場提供、本事業での活動やイベント等の周知・広報

主な事業内容

- 視察 (asoviva°w°-カ)
- 実行委員会 (全10回)
- 子どもの外遊びアンケート
(山陰両県内保育所、幼稚園、認定こども園、届出保育施設)
- #ソトイクキャンペーン

事業の主な成果

- #ソトイクフリーペーパー発行
1万部作成・配布 (鳥取・島根両県コンビニ・保育所・子育て支援センター等)
- YouTubeで外遊び動画配信「ソトでアソビ隊！」
- #ソトイク絵本製作
絵本「森の妖精ノースとレス」
1,100部
- 専用Facebook立ち上げ

工夫・ノウハウ

- 関係者は立場は違うが、同じ目的のために共通認識を持つ
- 役割分担を明確にする
- メーリングリストをうまく使う
- メールにはレスを
- 実行委員会では活発に意見交換をし、事業に活かす

今後の活動方針

#ソトイク冊子・絵本の活用及び、本事業で構築されたネットワークを活かし、山陰両県の関係者で取組を継続していく。また、他補助金の獲得も視野に入れつつ、子どもたちの豊かな外あそびを支える輪を更に広げて行きたい。